

書窓

Shoso

No.334

2012.12

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

図書館と私

本とわたし

316

田中 周子

幼少期の私にとって図書館は無縁の所でした。じっとしている事が嫌いで、外に出て走り回って遊び、本には全く興味のない子供でした。親もそんな私を、自宅から離れた図書館にわざわざ連れていくことがなかったのでしょうか。

しかし自分自身が母親になり、子供にとって絵本の読み聞かせが良いと聞き、子供には是非本が好きになって欲しい、心の豊かな子供に育って欲しい！と思った私は、突然図書館に行きたいと思い、その日から図書館に通うようになりました。今でも幼い娘を連れ初めて図書館に緊張しながら行った日の事を思い出します。

娘のためにと絵本を借り始めた私ですが、あれやこれやと本を探し、読み聞かせをしているうちに、いつの頃からか子供よりも一生懸命、本を探している自分に気が付きました。

幼かった娘も小学生になり、日記に「わたしは本がすきです。」と書いているのを見て、すぐくうれしくなりました。

今では子供も三人になり、それぞれの好きな絵本を探し、重たいほど持ち帰る。借りた絵本を真剣に読み聞かせる日もあれば、面白おかしく読んで笑わせてみる日もあります。一歳の末っ子用に借りた「だるまさん」シリーズは、小さい子向けの絵本ですが、上の二人も大好きで、読んでほしいと頼まれる日もあれば、お姉ちゃんや弟達に読んでやったりと、楽しい時間が持てる絵本です。

ここ何年かの間にデジタル化が進み、携帯やパソコンでも本を読む事が出来るようになり、便利になってきています。図書館に足を運び、本を手に取り選び、重たい本を持ち帰る。そんな手間がなくなり便利になるのかもしれないですが、どこか寂しく冷たい感じがします。私は、子供たちに断られる日が来るまで、今まで通りの私流のアナログ方式で、図書館に通い、読み聞かせをしていきたいと思えます。

(太田)

書名	著者	出版社	請求記号
本屋さんで待ちあわせ	三浦 しをん	大和書房	019
子供の哲学 産まれるものとしての身体	檜垣 立哉	講談社	114.3
天才を考察する「生まれか育ちか」論の嘘と本当	デイヴィッド・シエンク	早川書房	141.1
武内宿禰の正体 古代史上最もあやしい謎の存在	藤井 耕一郎	河出書房新社	210.3
幕末会津の女たち、男たち 山本八重よ銃をとれ	中村 彰彦	文藝春秋	210.6
地図で読む昭和の日本 定点観測でたどる街の風景	今尾 恵介	白水社	210.7
ナバテア文明	ウディ・レヴィ	作品社	228.5
一四一七年、その一冊がすべてを変えた	スティーヴ・グリーンブラッド	柏書房	230.5
孫文の机	司 修	白水社	281
赤松氏五代 弓矢取って無双の勇士あり	渡邊 大門	ミネルヴァ書房	288.3
ミラノの太陽、シチリアの月	内田 洋子	小学館	293.7
「網民」の反乱 ネットは中国を変えるか?	古畑 康雄	勉誠出版	302.2
北欧モデル 何が政策イノベーションを生み出すのか	翁 百合ほか	日本経済新聞出版社	312.3
ゾンビ経済学 死に損ないの5つの経済思想	ジョン・クイギン	筑摩書房	331
なぜ、あのリーダーの職場は明るいのか?	ダイアナ・ホイットニー	日本経済新聞出版社	336.3
折れやすい部下の叱り方	渡部 卓	日本経済新聞出版	336.4
節税以前の税金で得する常識	河西 哲也	講談社	345
母という病	岡田 尊司	ポプラ社	367.3
貧困のなかでおとなになる	中塚 久美子	かもがわ出版	367.6
無縁介護 単身高齢社会の老い・孤立・貧困	山口 道宏	現代書館	367.7
共同作業所のむこうに 障害のある人の仕事とくらし	きょうされん	創風社	369.2
移民の宴 日本に移り住んだ外国人の不思議な食生活	高野 秀行	講談社	383.8
なぜ疑似科学を信じるのか 思い込みが生み出すニセの科学	菊池 聡	化学同人	404
ヒッグス粒子素粒子の世界		ニュートンプレス	429.6
元素をめぐる美と驚き 周期表に秘められた物語	ウリアムズ・ヒュー・オールダシー	早川書房	431.1
暦の語る日本の歴史	内田 正男	吉川弘文館	449.8
孤独なバツタが群れるとき サバトバツタの相変異と大発生	前野ウルド浩太郎	東海大学出版会	486.4
自宅介護で「胃ろう」をやめた日	杉浦 和子	幻冬舎ルネッサンス	492.2
現代精神医学批判 からだに触ってください	計見 一雄	平凡社	493.7
妊婦マッサージ	山田 光敏	PHP研究所	495.6
ひょうごのロングセラー115	神戸新聞経済部	神戸新聞総合出版センター	502.1
耐震、制震、免震の科学	高層建築研究会	日刊工業新聞社	524.9
笠原将弘の白いごほんに合うおかず	笠原 将弘	主婦の友社	596
つくってあげたいシニアの「置き弁」	舘野 鏡子	NHK出版	596.4
卵、牛乳、砂糖なしお菓子じゃないパウンドケーキ	藤井 恵	文化出版局	596.6
50歳をすぎたら家の整理を始めなさい	近藤 典子	ポプラ社	597
食を考える	佐藤 洋一郎	福音館書店	611.3
ネーミングがモノを言う あのヒット商品から「東京スカイツリー」まで	飯田 朝子	中央大学出版部	674
子どものための『ケータイ』ルールブック	目代 純平	綜合法令出版	694.6
偏愛ムラタ美術館発掘篇	村田 喜代子	平凡社	720.4
箱根駅伝を歩く	泉 麻人	平凡社	782.3
落語の国の精神分析	藤山 直樹	みすず書房	779.1

新着図書紹介(文学)

2012. 12

書名	著者	出版社	請求記号
月の輪草子	瀬戸内 寂聴	講談社	セト
旅猫レポート	有川 浩	文藝春秋	アリ
沈黙のひと	小池 真理子	文藝春秋	ユイ
帝都を復興せよ	江上 剛	光文社	エガ
ことり	小川 洋子	朝日新聞出版	オガ
あの頃の空	佐江 衆一	講談社	サエ
七つの会議	池井戸 潤	日本経済新聞出版社	イケ
結婚家族	渡辺 淳子	光文社	ワタ
鋼の綻び	相場 英雄	徳間書店	アイ
逆回りのお散歩	三崎 亜記	集英社	ミサ
虫樹音楽集	奥泉 光	集英社	オク
ウエストウイング	津村 記久子	朝日新聞出版	ツム
ふれられるよ今は、君のことを	橋本 紡	文藝春秋	ハシ
なでし子物語	伊吹 有喜	ポプラ社	イブ
路	吉田 修一	文藝春秋	ヨシ
光降る丘	熊谷 達也	角川書店	クマ
原子力宇宙船地球号	戸梶 圭太	イースト・プレス	トカ
その場小説	いしい しんじ	幻冬舎	イシ
幕が上がる	平田 オリザ	講談社	ヒラ
禅は急げ！ 落護寺・雲水相談室事件簿	桂 美人	角川書店	カツ
スタート！	中山 七里	光文社	ナカ
盗人	田牧 大和	新潮社	タマ
けさくしゃ	畠中 恵	新潮社	ハタ
華、散りゆけど 真田幸村連載記	海道 龍一朗	集英社	カイ
まりしてん闇千代姫	山本 兼一	PHP研究所	ヤマ
キサキの大仏	奥山 景布子	中央公論新社	オク
めぐり逢い 新島八重回想記	鳥越 碧	講談社	トリ
梟の系譜 宇喜多四代	上田 秀人	講談社	ウエ
光秀曜変	岩井 三四二	光文社	イワ
維新銃姫伝 会津の桜京都の紅葉	藤本 ひとみ	中央公論新社	フジ
禿鷹の要塞	荒山 徹	実業之日本社	アラ
over the edge	堂場 瞬一	早川書房	ドウ
ブルーマダー	誉田 哲也	光文社	ホン
封鎖	仙川 環	徳間書店	セン
オチケン探偵の事件簿	大倉 崇裕	PHP研究所	オオ
逃走	薬丸 岳	講談社	ヤク
生まれることは屁と同じ 深沢七郎対談集	深沢 七郎	河出書房新社	フカ
卑怯を映す鏡 管見妄語	藤原 正彦	新潮社	フジ
光のない。	エルフリーデ・イエリネク	白水社	Fイエ
天才ジョニーの秘密	エレナー・アップデール	評論社	Fアツ
アヴィニオン五重奏 1 ムッシュー	ロレンス・ダレル	河出書房新社	Fダレ
フランス組曲	イレヌ・ネミロフスキー	白水社	Fネミ

こねこのバベツト

クレア・ターレイ・ニューベリー文と絵

光吉 夏弥訳 (ブッキング)

ある土曜日、チャツティが一人で留守番をしていると、白い仔猫が迷い込んできました。仔猫はミルクを飲み、スリッパやまりで遊び、しまいにはチャツティのひざの上で丸くなって寝てしまいました。チャツティは仔猫にバベツトという名前をつけ、お母さんに飼いたいと頼みますが、バベツトは同じマンションに住むトッドさんの飼い猫でした。バベツトのことが大好きになったチャツティに、トッドさんは、毎週土曜日、バベツトを預けて仕事に行きました。ところが、トッドさんが転勤で遠くに引っ越すことになりました。クリスマスの日、ふさぎこんでいるチャツティのところへ、トッドさんが赤いリボンをかけた箱を届けてくれます。中から飛び出したのは、なんと、バベツトでした！

バベツトが好きでたまらないチャツティのまっすぐな気持ちがおほえましく、別れると思っていた仔猫が自分のものになる幸せな結末に大満足です。柔らかい墨絵のような挿絵も、仔猫の表情や体の動きを生き生きと描いています。読んでもらえば四歳くらいから。

(池田)

子どもの本だな 150

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。



小公女

フランシス・ホジソン・バーネット作

協明子訳

(岩波少年文庫)

父親の赴任先インドで育ったセーラ・クルーは、七歳の時英国に帰国し、ロンドンの寄宿学校に入学しました。自分の部屋や馬車、メイドまで与えられた特別待遇の寄宿生となったセーラでしたが、偉ぶらず隔てのないふるまいで、勉強の苦手な級友や、駄々をこねて周囲をてこずらせてばかりの幼い子どもの世話をやき、皆にお話を語って聞かせ、屋根裏に暮らす下働きの少女からも慕われるようになりました。ところが、十一歳の誕生日パーティーの最中に、父親の死と事業の失敗が伝えられると、校長のミス・ミンチンの態度は一変しました。セーラは、屋根裏に追いやられ、下働きや使い走り、幼い生徒の世話係としてたくたになるまで働かなければなりません。疲れと空腹に苦しむ日々を、想像力をふるい「公女」になったつもりで耐えていたセーラが、ある晩ふと目をさますと、冷え切っていた屋根裏部屋の暖炉に火が燃えていて、温かい食事やふとんがありました。辛い時も誇りを失わず、自分よりさらに貧しい子どもにもパンを与えずにおられないセーラが、父親の親友に見出され、平穏な暮らしを取り戻す結末に、読者の心は大きな喜びで満たされます。

(片木)

年末年始の貸出と
休館のお知らせ

<貸出期間を3週間に>

12月14日(金)から12月27日(木)まで、
貸出期間を3週間にします。

<年末年始の休館のお知らせ>

12月29日(土)から1月3日(木)まで、年末年始のため休館いたします。1月4日(金)から開館します。ご迷惑をおかけしますがご了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

クリスマス 特別おはなしの時間
12月21日(金) 親子で楽しむクリスマスのお話
午後6:00~ 4歳以上の子どもと保護者
午後6:30~ 中学生以上大人まで

12月28日(金)は館内整理で休館ですが、図書の返却のみ受け付けます。(17時15分まで)

12月	1月	10:30 ~11:00	11:10 ~11:40	14:30 ~15:00	15:10 ~15:40	16:00 ~16:30
6日	10日	塚森 公民館		福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
13日	17日	岩見構下 公民館	岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲示板 前	原 太田東地 区農村交 流センター
20日	24日	広坂 ポスト前	上太田 公民館	沖代 地域内	吉福 公民館	太子ニ ュータ ウン 公民館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

×印は休館、□印は午後1時まで開館。開館は10時からです。金曜日は午後8時まで開館しています。

地 下 水

先輩Uに代わり、絵本の時間で『ちいさいしようぼうどうしや』を読まなければならなくなつた。消防車の鐘、サイレンのほかに音の表現が多く、自分では選ばない絵本だ。苦手なことを伝えると、「子どもはよくきくから。」と励まされた。

「うーうーうーうーうー！」「じゅーじゅーじゅーつじゅーつ！」家に持ち帰り、練習するが、そのまま読むとサイレンの緊張感や火が消える勢いのよさもない。自然にそれらしきを出せないと焦りつつも、ある場面では「それはおかしい。」と笑ってしまう。消防士が消火活動をする傍らで、家の人たちが家具を外に運び出し、火が消えた途端に、また運び込むのだ。

子どもたちは、確かによくきいた。私には、背後の家族の動きで火事か、のんびりしたものになつてしまふのだが、子どもは消火活動や二階に取り残された子どもの救出に緊張しっぱなしだ。この日読んだ絵本五冊を並べておくと、子どもたちがわっと寄ってきて持ち帰った。どうしてだろう、あんなに静まり返つて見ていた『ちいさいしようぼうどうしや』だけが残されたのは。擬音語に不安を抱きながら読んだのがいけなかったのか。反省しつつ、大人の見方と子どもの受け取り方の違いを実感できたこと、手ごたえのある絵本を読む機会を与えられたことがうれしかった。

(竹内)